

ほっとライン

加藤よし子議会通信

N054

2010年4月1日
中札内村議会議員
加藤よし子
後援会会長 鈴木省二

春は三寒四温

やっと春めいた暖かい日が多くなってきました。今年、雪が多く、まだまだ雪がいっぱいですね。帯広のほうへ行くと小麦の緑が見えているところもあり、上札内の雪の多さをつくづく感じます。

皆様いかがお過ごしでしょうか。寒かった冬に、体調を崩された方もあったのではないのでしょうか。

3月は卒業の時期、4月は新入学、就職など出会いの多い時期でもあります。今春はどんな出会いがあるのでしょうか？

議員の任期もあと一年になりました。(来年4月が改選です)残りの任期、皆様のお声を村政に生かせるよう頑張っていますので、よろしくをお願いします。



活動あれこれ



保育所でのおやつ作りや、人形劇で食育のお話しなどを行っています。

食生活改善推進協議会の活動

2月に道の駅アイスキャンドルのイベントがあったときに豚汁を作りました。

中学校、保育所などで食育の指導を調理実施悠や、人形劇で行いました。



ブックスタート事業で読み聞かせのお手伝いもしています。

図書ボランティアの活動

上札内小学校での図書ボランティア活動をメンバー6人と行っています。



住んでみたいな中札内村
行ってみたいな中札内村

4000 人の村づくり、顔の見える行政

予 算
か
ら

3 月定例会の報告

3月定例会は、3月10日から3月19日までの10日間の会期で開催し、予算審査は本会議で行いました。

市町村交流事業

埼玉県川越市との交流事業では、毎年川越産業博覧会に参加しています。今年も村内団体に呼びかけて参加してもらう予定です。今年には川越市に村のアンテナショップを開設する取り組みもしています。

14 万円

男女共同参画計画策定

村では、今年度男女共同参画基本計画を策定する予定です。誰もが尊重され、生き活きと生きられる村づくりにむけての計画を作ります。

24,2 万円

住宅用太陽光発電導入補助



太陽光を利用した発電システムを設置する方に設置費用の一部 28 万円を上限として助成します。

国の補助もありますので、太陽光発電を考えられてはいかがでしょうか。

112 万円

保健センター改修工事

保健センターは今年度耐震化工事にあわせて、多目的トイレの増設、事務所の増設、太陽光発電パネルの設置などの改修工事を行います。

なお、工事期間は7月から11月過ぎまでかかると思われます。事務所は改修のため一時運動指導室へ移動し、葬儀については、村内のお寺等にご協力をいただくことになります。

改修期間中の使用などにご迷惑をかけますが、ご理解とご協力をお願いします。

1 億 2,300 万円

参議院選挙

今年参議院選挙が7月に行われます。選挙費用は全て国から支払われます。現在、行政区長会議等で投票時間の短縮などについて検討しています。

371 万円

住宅火災報知器購入助成

高齢世帯の火災報知機の設置助成を行います。対象者は、住民税非課税の65歳以上の世帯です。 **限度額 5000円/戸**

**就学支援
所得制限あり
相談ください**

高校生 交通費助成バス定期代の1/2以内(12000円限度)
私立学校授業料の1/2以内 (15000円限度)
永井明奨学金 高校生(高専)30000円/月額以内
大学生 (短大、専門学校)50000円以内/月額

子供手当

中学生までの子供一人当たり月額13000円を6月より支給します。中札内村では426人が対象になっています。6035.9万円

公営住宅建設

上札内団地(4戸)・鉄道公園団地の建設(4戸)。公園団地2階5戸の改修工事を実施します。 **1億8776.6万円**
また、23年度建設予定のビレッジときわ野団地内の公営住宅及び、上札内東団地の公営住宅設計を行います。1075.3万円

交流の杜



昨年運営が始まった交流の杜は、昨年の長雨もあり芝生の痛みが激しくサッカー場の芝生補修及び、張り芝造成工事、駐車場の補修を行います。 **1209万円**
施設の運営・管理は指定管理者に年間2055万円で委託契約
文化・スポーツの振興、交流人口増加と経済波及効果で村の活性化が期待される。

一般質問

3月議会では3件について一般質問をしました。

1、村表彰条例について

加藤 「住民との協働」を掲げている村として、地域の中で頑張っている住民の功績を讃えることは住民のまちづくりへの意欲を引き出すことにつながり重要なことと思われま

す。村民の中には役職や記録等はなくとも、頑張っ

て地域で支えている人がおられ、この人たちに対し顕彰する姿勢があっても良いと思われま



2、 成人の健康づくりのための助成の拡充について

加藤) 肺炎球菌ワクチン接種への助成について



日本人の死因の4番目が肺炎であり、インフルエンザにかかった高齢者の1/4が細菌性肺炎になるとも言われています。肺炎球菌ワクチンは高齢者の肺炎の原因となる病原菌の中で最も頻度が高い肺炎球菌をねらったワクチンです。村においても助成の実施に向けた検討を行うべきではないでしょ

うか。

2) 脳ドック助成について

脳血管疾患は死亡原因の3位で症状が出たときには重篤な状況に陥ることが予想されます。このため、定期的な検診が予防に効果があるといわれます。今日では脳ドックの精度もドック内容も充実してきており、助成制度の検討を今一度行うべきではないでしょうか。

村長 国は予防接種制度の見直しについて審議されておりましたが、新たな対象とする結論は出ませんでした。このことから、本村においても接種の助成についてはいまま少し、国の動向を注視してまいりたいと考えているところであります。次に、脳ドック助成についてですが、最近では、費用も2万円程度と利用しやすくなっており、また、その検査の制度及び疾病発見後の手術の精度も向上しており、脳ドックの対象者範囲の確定、医療機関との調整を図り、費用負担のあり方などを検討して、早期に実施に向け検討してまいりたいと考えております。

3、 公営住宅でのペット飼育について

加藤 公営住宅でのペット飼育について調査を行っていましたが、その後の経過について伺います。ペットとの生活が精神的支えになっている方も多いと思われま



す。上砂川町では公営住宅でのペット

とともに暮らせる取り組みをしていますが、検討してみてもいいでしょうか。

村長 村営住宅においてはペットを飼わない方を入居申し込みの資格としており、ペットの飼育を禁止していることを周知しておりますが、入居後にペットを飼う入居者が相当数いるというのが実態であります。

現実的な対応として、現在飼っているペットのみを登録し、許可するとして、入居者から届出をいただくとともに、新たに入居される方への指導を強化しております。

条例での規制は現段階では行わず、現在のペットが生きている限りは飼うことを認め、新たなペットは飼育させないこととしたところであります。

